

高知県立林業大学校 卒業生同窓会会報

発行
高知県立林業大学校同窓会事務局
住所：香美市土佐山田町大平80
電話：(0887)52-0784

R3年度在校生



昨年、新型コロナウイルスの感染拡大を繰り返す中、新たな変異株の出現など収束に向けた道筋が見えないままの年越しとなりました。林業界は、事務職員は行動を制限されるようなこともありました。現場技術員は、さほど悪い影響も受けず、材価が上がったことで造材意識の上昇等にも繋がったのではないのでしょうか。



ごあいさつ

同窓会会長
川崎倫央
(専攻課程平成30年度卒)



今年集まる機会(オンライン等)を増やしていく。同窓会役員の皆様と共に行動していきたいと思っています。若輩者ではありますが、いままでと変わらぬご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。皆様の健やかな毎日をお祈りしています。

林業大学の現況

林業大学校副校長

金子 尚公

4月から副校長を拝命いたしました。金子です。よろしくお願ひいたします。

本校卒業生の皆様には、それぞれの分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

本校の近況についてお知らせします。今年度の研修生の状況は、基礎課程23名、専攻課程21名（森林管理5名、林業技術8名、木造設計7名）総勢43名となりました。今年度も一部はオンラインでの授業となるなど、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続いております。その様な中でも各森林組合・林業事業体・企業の皆様のご協力により研修生のインターンシップも実施することができました。



また、今年度の校長特別講義は、参加人数を制限して、11月8日（月）に高知市内のホテルで開催しました。第1部では隈校長と（株）竹中工務店参与の松崎様、そして高知県梶原町の吉田町長のお三方によるトークセッションを行いました。トークセッションでは、「SDGs・脱炭素×国産材普及・利用促進」「アフターコロナと住環境」「これからの林業や建築に携わる人材に求められること」について、お話いただきました。

第2部では、建築を学ぶ本校研修生や大阪市立大学、国際ビューティーカレッジの学生が事前課題の「道の駅」の設計について、プレゼンを行い隈校長とゲストの方から講評をいただきました。大変有意義な時間となりました。

今後、新型コロナを意識しながら本校の教育力の充実、向上に取り組んでまいりますので、同窓生の皆様には引き続きご指導ご協力をお願いいたします。



一本のヒノキ

林業大学校

外部講師
濱口 幸弘

平成27年2月27日支援センターの津野所長から1本の電話をもらった。

「この4月林業大学校が開校する予定で、実務を担当する講師を探している」と。

60才定年までの35年間消防吏員であったため、林業專業の経験はなく、言わば二足の草鞋を履いてきたが、後継者育成の一助になればとの思いから承諾した。67才であった。

開校時実習地は未定で、現在の林大校舎北側の採穂園で支障となる広葉樹の伐倒から始めた。何日か繰り返しているうち、ヒノキの伐倒をさせたいとの思いから津野所長に相談、技術センターに掛け合っていたら一人一本との約束で、間伐する許可をもらった。8月7日採穂園近くで1本のヒノキの伐倒を行った。その後8月18日実習地が決定し、穴内ダム上流の香美市有林に向かった。当地での研修は2期生まで続いた。（いずれの日付けも私の日記から拾った。）

あれから7年、叶うことなら県内各地で活躍している卒業生の皆さんを訪ねてみたい。随分と技術も向上していることだろう。

卒業生の近況報告

※基礎課程と専攻課程の両方を履修している場合は専攻課程の卒業年度を記載しています。

造林専門の会社まんさくに勤めて

飯干 貴広

（基礎課程平成30年度卒）

造林専門の会社まんさくに勤めて3年目になります飯干（いいぼし）です。皆さんが同窓会に行かれた際に、気の利かない無口な男がいたらそれが僕です。そのため顔が名字と同じくらい覚えにくいと思いますが、どうかよろしくお願ひ致します。

突然ですが、皆さんの勤め先には先輩の置き土産はありますか？愛用していたチェンソーであったり、もう使わないからと残っていた新品のリュックであったり、退職して3年も経つのに未だに語られる数々の武勇伝であったり。それらは僕の日々の労働を助けてくれるかけがえないものになっています。

木を次世代へと残す林業のように、先人たちが残してくれたものが僕を生かしてくれているのだと身近なところで感じるようになりました。僕も武勇伝以外は後輩たちに残せるように「相手に伝わる仕事の教え方」を模索中です。まだまだコロナで厳しい日々が続きますが、皆さんどうかご安全に。



近況報告(旧十和村から)

埜 賢治

(基礎課程令和元年度卒)

皆さんこんにちは。四万十町「とおわ守人企業組合」の埜です。去年の四月から旧十和村に移住し、新しい地域での田舎生活がスタートしました。

仕事は一年は造林、二年目からは皆伐の現場で作業しています。

仕事の後は、罨の見回り、畑・家の周りの草刈り。バドミントン、キックボクシングをそれぞれ週に一回。

両親も隣町に移住してきたので水曜日は娘と遊びに行っています。

日曜日は両親の家の裏の木を伐ったり、カヤッククラブでダウンリバー今の住まいは目の前に四万十川、周りは山。カヤックをやるにも罨をやるにも最高の環境です。

どちらもこちらに来てから始めたことですが、カヤックではみんなとダウンリバーをできるように、罨も農協から害獣駆除の依頼が来るようになりしました。もうすぐ年間20頭！林業の仕事も田舎での生活も新しいことばかりで大変ですが、やりたいことばかりで将来がとて楽しみます！
ビバ林業！



第2の人生のはじまり

黒瀬 宗樹

(基礎課程令和2年度卒)

林業大学を卒業し、(株)あすなろ四国支社での第2の人生を歩み始めて早いもので7カ月が経ちました。林業大学校に入学するまでは大阪の製剤メーカーに11年勤めていたわけですが、人生一度きり、「例え後悔したとしても、やりたいことをやらない後悔より、やって後悔するほうがいい」、そういった思いで転職を決意した2年前がなんだか懐かしいですね。

(株)あすなろ四国支社は高知県、愛媛県の国有林を主に事業を展開している会社で、今年度は、東は高知県室戸市から西は愛媛県愛南町までの範囲7カ所で事業を行っています。現場では約40名の社員が働いており、安全かつ効率的に事業が進行するようにサポートを行うことが私の役割のひとつにあります。その役割を果たすためにはまだまだ学ばないといけないことも多くありますが、社員の考えを尊重してくれる、新しいことに挑戦させてくれる職場環境で、成長しながらそれを実現させたいと思います。

最後に、この同窓会を通じて同窓生の皆様、林業大学校とその関係者の皆様との横のつながり、縦のつながりを築き、育ませ、その組織力で高知県の林業、日本の林業にイノベーションを起こせる日が来ることを期待しています。



津野町森林組合にて

尾崎 寛典

(森林管理コース令和元年度卒)

尾崎です。津野町森林組合に就職して1年半ほど経ちました。今の現場では、ウィンチ付グラップルで木寄せ集材をしています。立木を傷つけずに作業するのは難しいですが、うまくいくと達成感があります。

さて、組合が四電工の仕事を受けているよしみで、チェンソーの初心者研修をうちの班で行うことになりました。ちゃんと教えるために、今は改めて教科書を読み直している最中です。

この会報が出る頃には、なんとか研修を終えていると思われませんが、どうなることやら・・・
精いっぱい頑張ります。



ウィンチ付グラップル。小型なためバランスが悪い

令和3年度林業大学校教員紹介

林業大学校も開校から7年目となり、林業大学校の各課程・各コースの教員も異動により毎年変わっている方もいますので、令和3年度時点の教員を紹介させていただきます。

基礎課程 山口達也 川谷尚平

専攻課程 森林管理コース 弘瀬健一 福山聖

林業技術コース 種田光伸 諏訪貴俊

木造設計コース 石本桜子 小路口聡

オンボロジムニー

山添 修司

(林業技術コース平成30年度卒)

林業学校3期卒業の山添修司です。私は大豊町の吉川林業という会社で働いて3年目になります。吉川林業は皆伐がメインで、普段は伐倒、集材、荷掛け、造材、運搬等の作業をしています。最近ではプロセッサなどの高性能林業機械に乗らしてもらいう事も増えてきてやりがいを感じています。

私の趣味は車やバイクを弄ることで、20年落ちのオンボロジムニー転がしてます。ゆくゆくはこのジムニーでキャンプや狩猟なんかもやってみたいと思ってます。赤色のヤバイジムニー見かけたら声掛けてください。

最後に、林業は本当にキツくて危険な仕事ですが、これからも山師に誇りを持って日々奮闘していこうと思います。皆さんも安全には充分気を付けて頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています。



『知識0からのスタート』

大野 亜津美

(木造設計コース令和2年度卒)

H F設計に入社して半年が経ちました。入社する前の不安とは裏腹に、会社はアットホームな空間に溢れており、楽しく仕事をさせていただいています。

H F設計は構造設計事務所ですが、私は全くと言って良いほど、構造の知識はありませんでした。しかし、会社の方々に優しく教えていただき、最近ではありますがやっと仕事がスムーズにできるようになってきました。

物件を重ねていく度にやりがいを感じ、楽しいと思ってきているのを実感しています。多くの意匠設計の方々からお仕事をいただくので、それぞれの設計・デザインを見ることも楽しみになっています。

プライベートでは、今更ながら高知県の観光スポットを巡って、日々楽しく過ごしています。

まだまだ知識不足、経験不足ではありますが、これからも楽しく仕事していきたいと思えます。みなさまも仕事を楽しまつつ、お体に気をつけてお過ごしください。



令和3年度同窓会 役員会の報告

令和3年度同窓会役員会を、12月4日にオンラインにて実施しました。本来9月頃の開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、時期がずれ込んでいましたが、会報の発行との兼ね合いもあり、今回はオンラインでの開催となりました。

主に3年に1度の同窓会会長、副会長の改選についてや、新卒業生への本会の周知などについて協議しました。今回諸般の事情により会長、副会長の交代があり、新体制となりました。

卒業生の皆様には、今後とも本同窓会への御協力の程宜しくお願ひします。

- 同会役員会の紹介
- 会長…川崎倫央 (三期)
 - 副会長…芦田広記 (一期)
 - 副会長…川村耕大 (三期)
 - 西森貴弘 (一期)
 - 大岸卓也 (二期)
 - 大瀬良勇一 (二期)
 - 飯干貴広 (四期)
 - 森澤勉 (四期)
 - 埴賢治 (五期)
 - 佐山速基 (五期)
 - 黒瀬宗樹 (六期)
 - 竹村佳晃 (六期)

編集後記

梅の開花の便りが届く季節となりましたが、卒業生の皆様におかれましては益々健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、まずは急なお願いにもかかわらず原稿を寄せてくださった皆様に心よりお礼申し上げます。

本会報が皆様の働く活力、卒業生同士の交流のきっかけになれば幸いです。林業大学校ではホームページやSNSにて在校生の活動について報告を載せていますので、そちらについても是非ともご覧ください。

まだ厳しい寒さが続きますが、お体に気をつけてお過ごしください。

林業大学校教務課

諏訪 貴俊